

第7回検討委員会における検討のポイント

1. 普通科、専門学科（職業系）、総合学科の比率はどうあるべきか。

生徒のニーズ

- ・各高校への志望動向（第5回検討委員会資料6参照）
- ・高校卒業後や将来の進路希望（資料3、第2回検討委員会資料2参照）

社会のニーズ

- ・本県の産業振興、人口流出対策
- ・団塊の世代の大量退職

2. 普通高校における専門学科等はどうあるべきか。

理数科、体育科、英語科の今後のあり方はどうか。

- ・生徒のニーズが少ない学科はどのように考えるか。（英語科、理数科の一部）
- 新たな学科を考える必要はないか。

3. 全県的な普通高校・学科の配置をどのように考えるか。

高校教育の機会均等と望ましい教育の提供や一定の教育水準の維持・確保

- ・沿線部、中山間地域・離島
- ・高校の適正規模、通学エリア（第5回検討委員会資料5-1参照）等

生徒数減少への対応

- ・小規模になっても存続
- ・周辺の高校との統合
- ・募集停止

（県外からの生徒募集等）